

# 魔法の種 プロジェクト 活動報告書

報告者氏名: 永石 浩

所属: 武雄市立北方中学校

記録日: 2017 年 2 月 11 日

キーワード: コミュニケーション、体験活動、学習方法、家庭学習、学習意欲

## 【対象児の情報】

### ・学年

中学 1 年生 男子生徒

### ・障害名

自閉スペクトラム症

### ・障害と困難の内容

- ・家族以外の人とのコミュニケーションに困難を示す。
- ・見知らぬ人との接触や集団に対して不安を感じるため、屋外での活動や学校への登校に困難がある。
- ・物事や自分の行動に対してこだわりを持つことが多く、予定の変更や気持ちの切り替えに困難がある。
- ・長い文章を考えることを苦手としており、文字を書くことに抵抗がある。
- ・自分の気持ちや考えを、相手に正確に伝えることが難しい。

## 【活動目的】

### ・当初のねらい

1. 情報を共有する方法を増やしていくことで、安心してコミュニケーションができるようになる。
2. 興味関心が持てる体験活動を手がかりに、学校生活や家族以外の人との関わりに少しずつ慣れていく。
3. 自分なりの学習方法を身に付けることによって、自信と、学校での学習への見通しを広げていく。

### ・実施期間

平成 28 年 5 月～平成 29 年 1 月

### ・実施者

永石 浩

### ・実施者と対象児の関係

特別支援学級担任

## 【活動内容と対象児の変化】

### ・対象児の事前の状況

- ・小学校 2 年生から登校しづりが始まり、3 年生からの不登校の状態が長く続いていた。
- ・たくさんの失敗体験や抑圧的な関わりを受けた体験が、心理的負荷としてのしかかっていた時期が長く、特性上の関わりへの苦手さだけでなく、そうしたトラウマも大きく、極端に人との関わりを回避してきた。
- ・対人関係に大きな困難を抱えている。
- ・長く家族以外との接触をしてこなかったこともあり、自分の気持ちを相手に伝えたり、相手の思いを誤解なく受け止めたりすることに苦手さが見られる。
- ・物事や自分の行動に対してこだわりを持つことが多い。一方的な指示や急な予定の変更など、見通しの立たない事柄に対して過度の緊張とストレスを感じ、心理的負荷が大きい。
- ・知的な遅れはないが学習空白が長く、小学校の学習内容は定着していないものも多い。
- ・知識欲は高く、自宅では、関心を持った事柄を本やインターネットで調べており、そうした内容については、理解もできている。
- ・文章を読み(目読)、内容を理解することについて、大きな問題は見られない。
- ・長い文章を構成することや、文字や図形などの見本を見て書き写すことが難しい。
- ・文字を書くことに抵抗が大きく難しい。
- ・中学進学を機に、自分から登校への意欲を示し、4 月から週に 1 回、送迎付きで登校を始めた。他の生徒や面識のない人との接触を避けながら、特別支援学級担任と 1 時間程度の活動に取り組んだ。

### ・活動の具体的内容

#### 1. コミュニケーション

##### ①直接的なコミュニケーション

- ・登校後、生徒は担任と一緒に今日の活動予定を確認し、担任と相談した上で活動内容を決める。自分が活動する場所、活動時間、活動内容、活動量に見通しを持って取り組む。

活動に見通しを持つ

担任と生徒が相談して活動内容を決める

5月27日(金) 予定

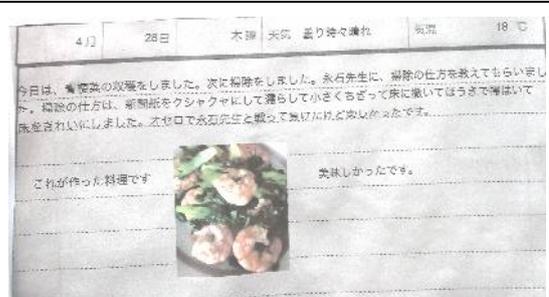
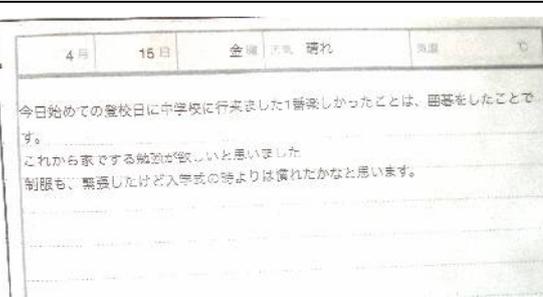
1. あいさつ
2. 今日の予定について・お話 …………… (5分)
3. ピーマン・ナスの観察・追肥 ……(野菜畑) (15分)
4. サツマイモの苗植え ……(サツマイモ畑) (15分)
5. きゅうけい ……………(教室) (5分)
6. レクレーション(オセロ)…………(教室) (15分)
7. あいさつ(おわり)

##### (例)黒板に示された活動予定

- ・生徒は、担任とのお話の時間(上記2.)に、宿題(前回登校した日の日記)を提出する。担任はその場で読んでコメントを書き、生徒に返す。
- ・生徒は、活動の後半に担任とレクレーション(オセロ)に取り組み、担任と勝負する。

##### ②遠隔でのコミュニケーション

- ・生徒は自宅で「タッチアンドリード」の機能を使って日記を作成する。用紙を撮影した画像に文章や写真を貼り付けて、登校した日の日記を作成し、次回登校日に印刷した紙媒体を担任に提出する。(4月～6月)

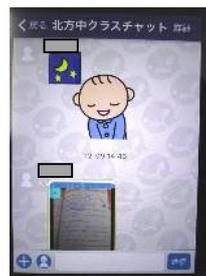


「タッチアンドリード」の活用： 生徒が入力した文字を画像として日記用紙の画像に貼り付けて加工したもの

・生徒は、「By Talk for School」  のクラスチャット(担任と生徒だけのグループチャット)を使って、担任とメッセージのやりとりをする。(「By Talk for School」は6月から運用開始)



短い文章でのやりとり



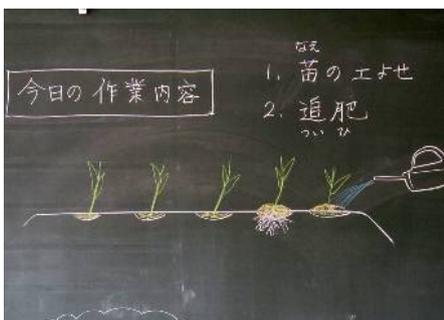
生徒がスタンプを用いて気持ちを表現する

「By Talk for School」の活用：担任は、生徒の頑張りを認めてほめる態度を心がけ、短い文章で伝える。

## 2. 体験活動

### ① 農作業体験

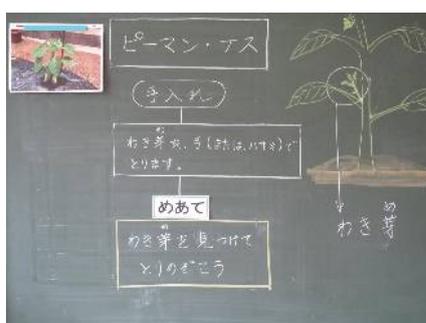
- ・生徒は、学校内にある菜園で、担任と一緒にナス、ピーマン、サツマイモの栽培活動に取り組む。
- ・担任の解説を聞き、iPadで栽培に必要な作業手順の動画を視聴し(YouTube)、事前学習をする。
- ・担任と一緒に菜園に行き、農作業体験に取り組む。



ピーマン苗の土寄せと施肥



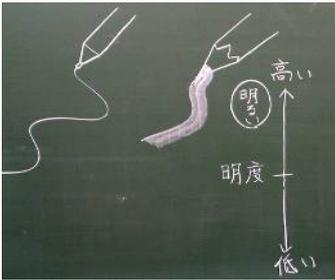
黒板に書いた作業内容の解説



ピーマンのわき芽を取る作業

## ②美術の実技

- ・生徒が美術の学習に関心を示し、絵を描く練習をしたいと希望したことから、担任が作成した実技のワークシート（鉛筆の使い方、鉛筆による明度やグラデーションの表現）に取り組んだ。



担任が作成したワークシートに取り組む

## 3. 自分なりの学習方法

### ①市販の問題集の活用（6月～）

- ・生徒は、学校の教科書に対して抵抗があり、教科書を使った学習が難しい状況にある。
- ・そこで、生徒が学習したいと思う教科と学習内容を自分で選び、市販の問題集を使った家庭学習に取り組む。
- ・生徒は、学習する時間と分量を自分で決めて、問題集を1日に2ページずつ取り組む。
- ・生徒がやり切れる内容と分量で取り組む。
- ・学齢相当(中1)の内容で、学習の積み上げがいない内容(中学地理、言葉・漢字)から取り組む。



新興出版社の中学生向け  
基礎レベル学習書  
「ホントにわかる」シリーズ  
(中学地理)



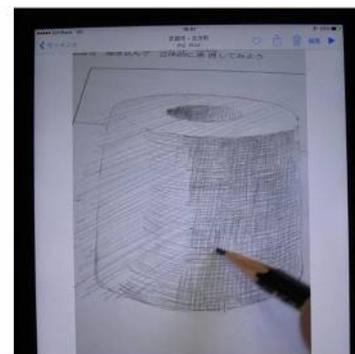
学研教育出版の学習書  
「4年生までに身につけたい  
言葉力1100」  
(言葉・漢字)

### ②美術の課題ワークシート

- ・生徒が絵を描くことに興味を示し、鉛筆デッサンの練習をしたいと意思表示をした。(8月)
- ・生徒は自宅で、担任が作成したワークシートを使って、絵を描く練習に取り組む。(鉛筆デッサン)
- ・生徒は自宅で、担任が技法の解説や実技を行う様子を撮影した動画を見て、ワークシートの課題に取り組む。



動画授業（担任が黒板に実演しながら解説の様子）  
保護者が撮影して生徒に紹介した。(H28.9月16日)



動画授業(担任がデッサンの手順を解説しながら実演する)  
By Talk for School で生徒に送信した (H28.9月23日～)

### ③「タッチアンドリード」、「By Talk for school」の活用

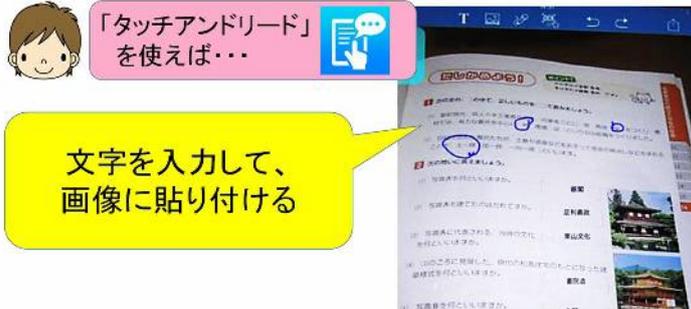
・生徒は家庭で問題集を使って勉強に取り組んでいるが、学習の空白が長いこともあって、文章を考え、文字を書いて提出するということに不安を感じているので、問題集に直接答えを書き込むことが難しい。

・生徒は、文字を直接書くのではなく、「入力する」という手段を選択した。

・生徒が担任に家庭学習の課題を提出する方法

(1)「タッチアンドリード」の機能を使って、問題集のページを撮影した画像に、答えを入力した文字や図形を挿入して解答済みの画像データをつくる。

(2)それを「By Talk for School」のチャットに添付して担任に送信することで、提出する。



生徒が、By Talk で家庭での学習を報告してきたもの

### ・対象児の事後の変化

#### 1. コミュニケーションについて

##### ①直接的なコミュニケーション

・生徒は、活動する場所と時間に見通しを持ち、安心できる静かな環境で、落ち着いて担任と対話しながら、活動することができた。

・レクレーション(オセロ)の中から、生徒の自発的な言葉が出てくるようになった。

##### ②遠隔でのコミュニケーション

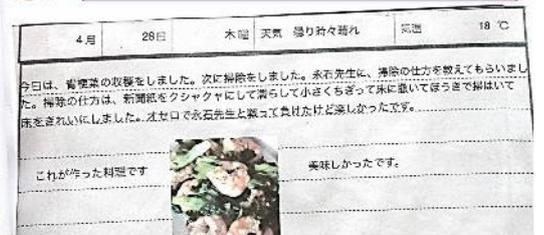


#### タッチアンドリードの活用によって

・生徒は、「タッチアンドリード」の機能を活用することによって、文章を考え、文字を記して、日記を提出するという仕事を、補うことができた。



「気持ちや考えを、担任に伝えることができた



#### By Talk for school の活用によって

・電話と違い、即座に受け答えをしなくてすむので、生徒は、伝えたいことをじっくり考えてから、メッセージを送ることができた。(このことは、生徒が担任に何かを伝えたいと思うときに、大きな手助けになっていると思われる)

・生徒はBy Talkのチャットで、スタンプを活用して自分の気持ちを表現するようになった。

短い言葉やスタンプでメッセージを送ることができた



## 2. 体験活動について

### ①農作業体験

- ・生徒から、農作業体験について「楽しい」という感想が聞かれた。
- ・畑の作業では、土を触ることに抵抗もなく、苗の手入りをしたり、肥料をまいたり、意欲を持って活動できた。
- ・農作業に用いる用具や作業の名前を、自分で調べて日記にあらわすなど、自発的な学習ができていた。

### ②美術の実技

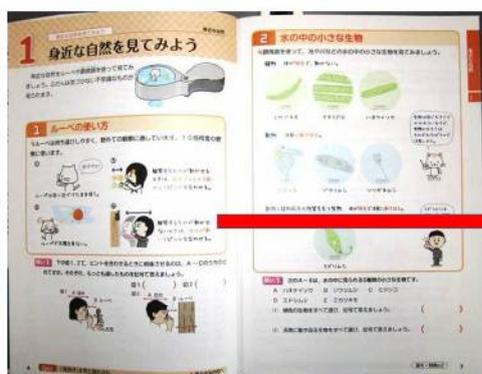
- ・生徒は、鉛筆で「絵を描くこと」に興味を示して熱心に作業ができた。（教室での学習に取り組めた）
- ・「難しいな…」とか、「こんな感じかな…」など、つぶやきが聞かれた。40分程度の作業に集中することができた。
- ・生徒は、教科書を開いて見たり、名前を書いたりすることに抵抗があったが、担任から教科書の資料集を受け取り、自分の名前を書いた。

## 3. 自分なりの学習方法について

### ①市販の問題集の活用（6月～）



「ホントにわかる」シリーズ  
中学地理



「ホントにわかる」問題集のページ



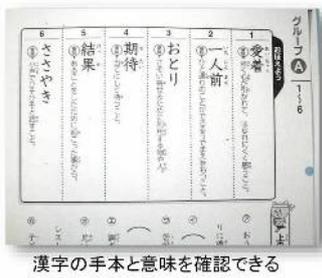
動画の一場面

### 「ホントにわかる」シリーズ

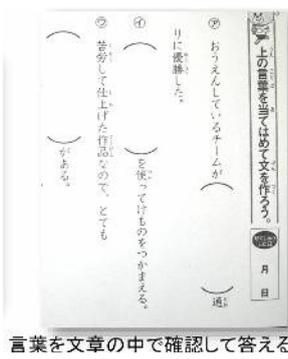
- ・見開きの2ページが、1回分といった構成で、生徒にとって、取り組みやすい学習内容であった。
- ・生徒は、1日に勉強する分量を『1回分の2ページ』と決めて取り組み、継続して学習した結果を担任に報告することができた。



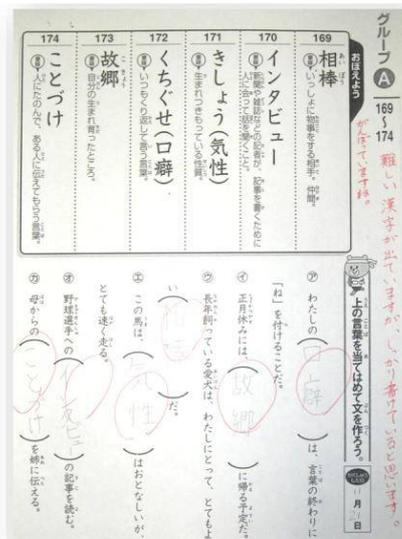
「4年生までに身につけたい言葉力1100」



漢字の手本と意味を確認できる



言葉を文章の中で確認して答える



### 「4年生までに身につけたい言葉力1100」

- ・漢字の手本と意味を確認しながら覚え、その言葉を、文章の中で確認して使うことができるので、生徒がやりきれぬ内容と分量で取り組みやすい学習内容であった。
- ・生徒は、これらのテキストを使って、家庭学習の時間を自分で決めて取り組むことができた。すこしずつ、学習習慣を身につけている状態にあると思われる。

## ②美術の課題ワークシート

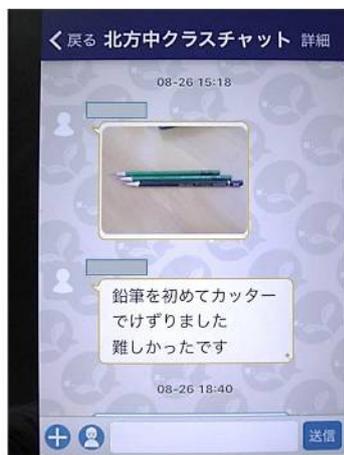
- ・生徒は、デッサンのワークシートに自宅で取り組み、完成した絵を、母親を通じて担任に提出するようになった。
- ・保護者によると、生徒はデッサンに取り組んでいる時間が、気持ちが安定しており、落ち着いて集中できている。
- ・生徒は、鉛筆デッサンの練習に、とても真剣に取り組み、目覚ましい上達がみられた。
- ・担任がデッサンを実演しながら解説を行う動画授業について、生徒の反応がよかった。
- ・生徒から、『絵を描く練習をがんばります。』、『動画 わかりやすかったです。』といったコメントが返ってきた。
- ・生徒は、インターネットで、デッサンのサイトを検索して調べるなど、学習に意欲を示した。



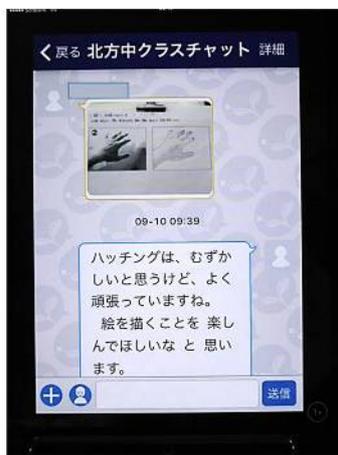
生徒から担任へのメッセージ (By Talk for School)

## ③「タッチアンドリード」、「By Talk for school」の活用

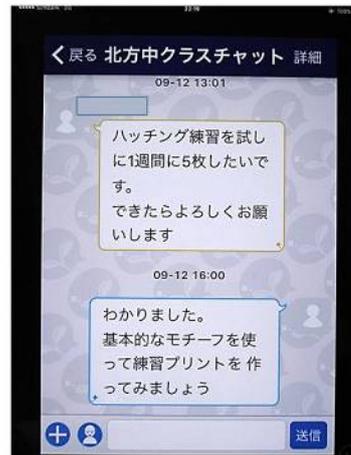
- ・生徒は、「タッチアンドリード」と、「By Talk for School」を活用して、自分の勉強内容を担任に報告をすることが、ほぼ日課となっている。
- ・学習内容の報告に対して、担任が評価し、コメントを返信してくることが、生徒のひとつの楽しみになっており、そのことによって、生徒のコミュニケーションに対する緊張や不安が軽減していくことを期待している。
- ・生徒から担任に要望が届くようになった。



生徒から担任へのメッセージ



担任から生徒への返事



美術のワークシートを  
生徒が要望するメッセージ

## 【報告者の気づきとエビデンス】

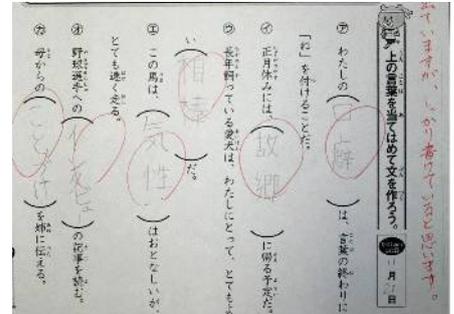
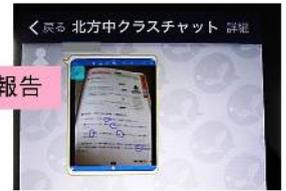
### ・主観的気づき

- ・生徒は、がんばっているのに、理解してもらえなかった経験から、対人面で不信感を拭いきれないが、相手が本人のがんばりを理解して共感することで、安心感といった気持ちが増えてきたように思われる。
- ・失敗体験や学習の空白といった困難さがあるが、成功体験が増えていくことで、自信と、自分に合った学習の手がかりを少しずつ掴んでいるのではないかとと思われる。

・見通しの立たないことを指示される不安が大きいですが、保護者や担任と相談をしたり、自分で判断して行動を決めたりすることで、見通しを立てる、気持ちを切り替える、といった力が少しずつ付いてきているように思われる。

By Talk for School に添付して 担任に送信

自宅での学習の報告



漢字の書きに上達がみられた  
(11月24日 言葉・漢字の問題集)

・エビデンス(具体的数値など)

生徒の最近の様子から

- ・生徒は、平成28年7月以降、登校することが難しい状況にあるが、冬休みに1度、登校することができた。(H28.12月28日)
- ・デッサンを担任に直接教わりたいという気持ちがあり、登校に結びついた。担任と一緒に、デッサンの練習に取り組むことができた。
- ・生徒は、「タッチアンドリード」と、「By Talk for School」を活用して、自分の勉強内容を担任に報告をすることが、ほぼ日課となっている。
- ・デッサンの上達に合わせて、漢字の書き方にも上達がみられた。(へんとつくりの間隔、バランスが上手に書けるようになった。)モデルを観察して、鉛筆で正確に描くというデッサンの練習を継続して行っていることで、漢字の手本を見て書くという作業においても精度が高くなっていると考えられる。

保護者の話から

- ・世界のニュースや社会の出来事に関心を持つようになった。テレビのニュースを見てコメントする、母親に自分の気持ちや考えを表出することが多くなった。
- ・納得できないことや困難な状況に対して気分が落ち込むことがあるが、その後の気持ちの切り替えが、以前より上手になった。
- ・1日の予定を考えて、自分の行動に見通しを立てて活動できるようになってきた。

・その他エピソード(画像などを含めて)

- ・生徒が、By Talk で担任に誕生日祝いのメッセージを送ってくれた。
- ・課題の提出以外にも、こういった自然なやりとりができるようになった。
- ・生徒が、教科書の資料集を受け取り、自分の名前を書いた。(保護者によると、生徒は、長い間、学校や先生、教科書というものに抵抗があったので、教科書を開いて見たり、名前を書いたりということをしなかった。)このことについては、生徒が学校での美術の学習を受け入れることができたのではないかと感じられた。
- ・今後は、生徒が By Talk でのやりとり以上に、実際に担任と学習したいと考え、登校に結びつくように、生徒の興味・関心を引き出すような学習課題を工夫していきたい。



生徒から担任へのメッセージ

誕生日祝いの  
メッセージを  
送ってくれた!